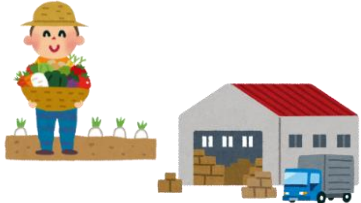


ブロックチェーンを活用した食品トレーサビリティPF活用のメリット及び課題

	メリット	課題
【農家・集荷者】 	• 消費者に情報の提供が可能 • 自身の農産物がどこでどの様に売られているか把握できる • 回収発生時のコスト削減	• 情報入力の手間が大きい • ロット単位の管理が困難 • （特に輸入品の場合）入力できる情報が限定される
【仲卸・卸】 	• 回収発生時のコスト削減 • 商流の特定が容易	• 情報入力の手間が大きい
【小売】 	• 消費者に情報の提供が可能 • 回収発生時のコスト削減 • 商流の特定が容易 • 消費者からの信頼性が向上	• 情報入力の手間が大きい • 店頭でのロット単位の管理が困難
【消費者】 	• 商品の生産や流通等に関する情報を入手可能 • 問題がある商品が流通しても、被害発生可能性が減少	• 食の安全・安心が価格転嫁されることに否定的

ブロックチェーンを活用した食品トレーサビリティPF活用のメリット

出荷停止や回収作業に要する時間の大幅な短縮により、**万一、健康被害発生の可能性のある商品が流通した場合に、消費者被害の発生可能性を大きく低減**

複雑な流通構造でも、商品に関する情報を正確かつ容易に流通させることが可能となり、**消費者に安全・安心な食品配送を実現**

ブロックチェーンプラットフォームに書き込まれた情報は改ざんできないため、**食品偽装や誤表示を防止し、食品流通の透明性を担保**

ブロックチェーンを活用した食品トレーサビリティPF活用に向けた課題

情報の信頼性向上及び入力コストの低下を実現するために、手作業での入力だけでなく、センサー等のIoT機器を利用して自動で入力する仕組みが必要

- 本実証のブロックチェーンプラットフォームでは、手作業での入力が多く、実証参加企業の負担になっていたため、今後はIoT等、情報の入力コストを下げる仕組みが必要
- 数字も自動入力で、誤入力を防止

事業者ごとに入力可能な情報項目及び公開したい情報の範囲が異なるため、入力項目や情報アクセスを柔軟に変更できるカスタマイズ機能の実装が必要

- 入力負荷を減らしたい事業者や、管理徹底のために多くの情報を入力したい事業者等、入力項目の考え方については事業者ごとにニーズが異なり、柔軟性を持たせた運用が必要
 - ただし、データの整合性を持たせるために、共通の必須項目は用意する必要
 - また、入力済みの項目について、見やすさを考えた画面提示が重要



まとめ 食品情報プラットフォームの登場とこれから

これまでのトレーサビリティシステム

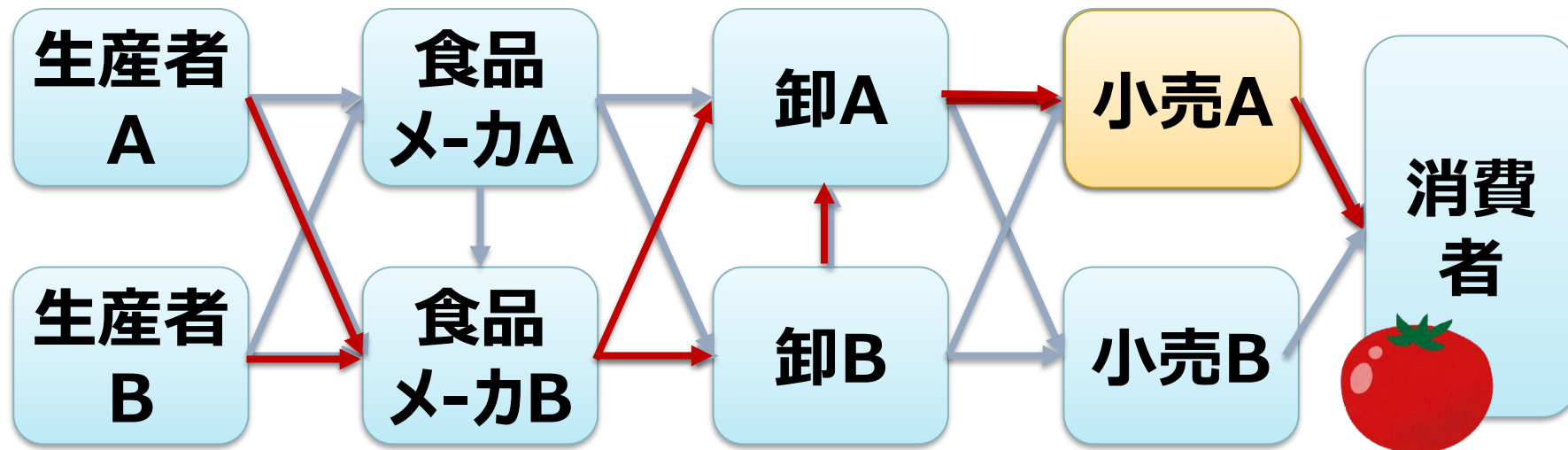


特定の品目や看板を守ることを目的とした、
小売りや生産者が主導する
限定的なサプライチェーンでの
トレーサビリティがメイン



**この商品は、すべての流通を
把握できています。**

新しいトレーサビリティシステム

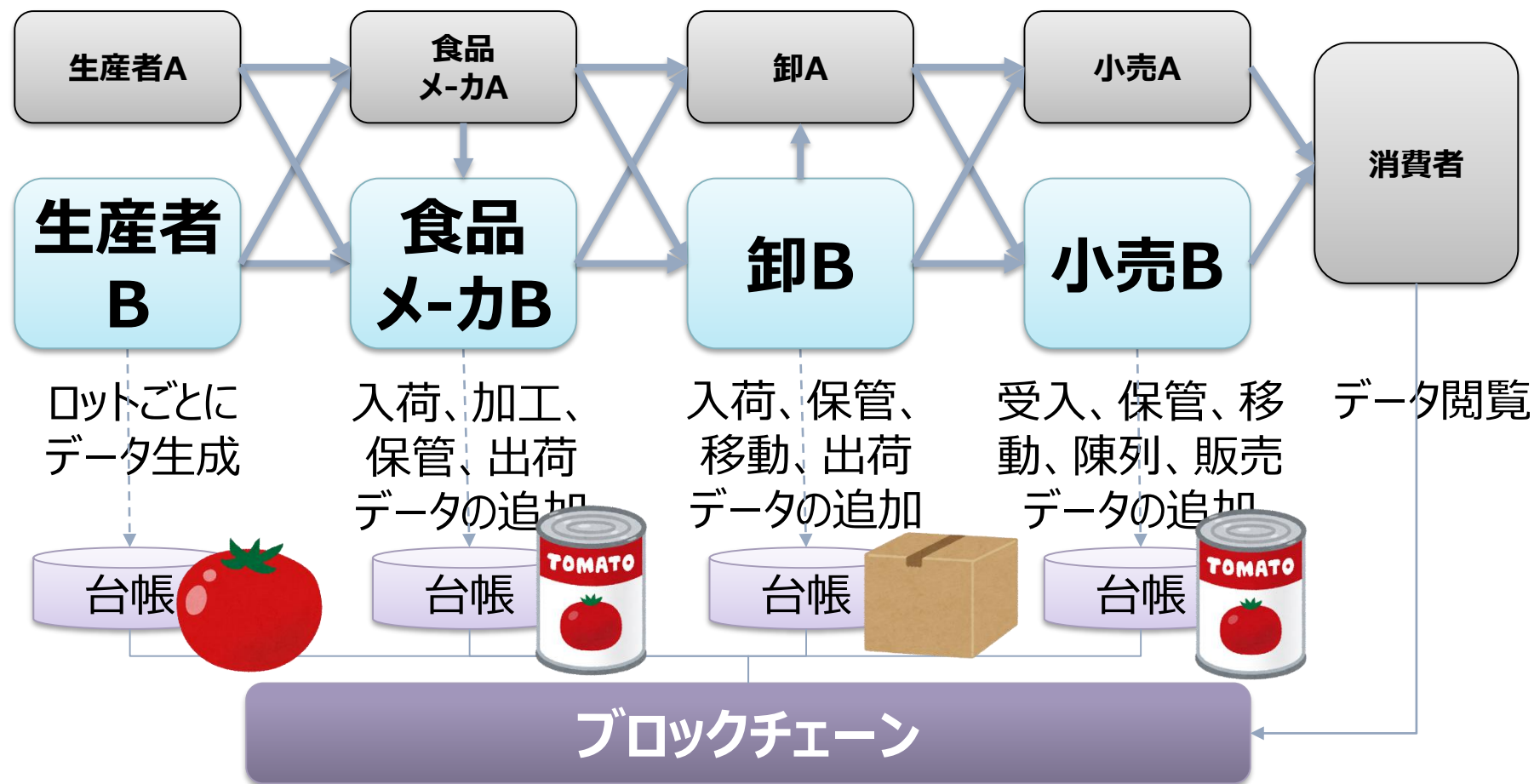


食品業界全体に広がる
複雑なサプライチェーンを追跡する
トレーサビリティを追求



今、目の前にある商品は
どこからどうやって来たのか？
(安全って本当に言えるの？)

食品サプライチェーンでのブロックチェーン活用イメージ



調達基準、受入基準等確認時に
必要となるすべての情報を製品と紐づけ

何が異なるのか？



旧

競争領域
差別化ツール



新

協働領域
業界全体のインフラ

用途	指定品質（ブランドバリュー）の確認、証明	商取引での説明、証明 （取引基準、受け入れ基準等への対応）
扱う情報	主導者の指定する情報	調達基準や受入基準に関連する情報すべて
対象とするサプライチェーン	シンプル （特定のサプライチェーン）	複雑 （あるがままを情報化）
主導者	小売や生産者	誰でもなりえる
管理者	主導者と同じ	プラットフォーマー

世界は変わろうとしている

新しい食品流通のインフラ
“食品情報プラットフォーム”が登場



世界では、すでに、
標準化を視野に入れた
開発競争が始まっている

食品トレーサビリティプラットフォームのその先に

- 何が

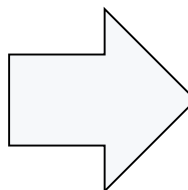
誰が、いつ、どこで作って、どこの流通を、
どのように通った、どんな品質のものか

- どこに

取引先、販売先、自社倉庫、
自社営業所、トラックの中、、、

- どれくらいあるのか

ロット単位での集計



経営戦略の基礎情報

- 正確な在庫管理
- 事故時の迅速な、効率的な回収
- 正確な販売実績の把握

サプライチェーン全体の最適化

- 需給予測
- 供給予測

...



食品“**情報**”プラットフォームで
この先何ができるか？

ご清聴ありがとうございました



株式会社三菱総合研究所